

雅歌8章(70人訳)

- 1 私の親族が私の母の胸から(乳)を吸ったものであったらよいのに、私が外で彼を見つけたとき、キスをして人々は私をさげすまないから。
- 2 私はあなたを連れて行き、私はあなたを私の母の家に連れて行き、私をはらんだ彼女の部屋に連れて行き、私はあなたにスパイスのあるぶどう酒を飲ませ、私のいちじくのジュースを飲ませる。
- 3 彼の左手が私の頭の下にあり、彼の右の手が私を抱いてくれたらよいのに。
- 4 エルサレムの娘たちよ、私は野の徳により誓ってまいります。あなたが私をかきたて、彼が喜ぶまで愛をさませないように。
- 5 すべてが白く彼女の親族によりかかって来るものは誰か。私はあなたをりんごの木の下に立たせませ、あなたの母があなたをそこに連れてきました、あなたを生んだものがここに連れて来ました。
- 6 私をあなたの心臓の封印のようにセットしてください、あなたの腕の封印の様に。何故なら愛は 死の様に強く嫉妬は墓の様に残酷だからです。その車輪は火の車輪であり炎もある。
- 7 多くの水も愛を消すことができません、川もそれをおぼれさすことができません、もし人が愛のために全ての持ち物を与えても人々はそれをさげすみます。
- 8 私たちの妹は小さく、胸がありません、私たちは彼女にどうしようか、彼女が語られる日のために。
- 9 もし彼女が壁なら、私たちは彼女の上に銀の壘壁を建てよう、もし彼女が戸なら彼女のために杉の戸を刻もう。
- 10 私は壁、私の胸は塔の様、私は彼らの目には平和を見出したものの様。
- 11 ソロモンはベラモンにぶどう畑を持っていた。それを彼のぶどう畑を守るものに渡す、それぞれの者はその実のために1000の銀を持ってくる。
- 12 私のぶどう畑、私のものも、私の前にある、ソロモンは1000を持つだろう、その実を保った者には200。
- 13 園に住む者よ、連れ合いはあなたの声を聞く、私にそれを聞かせてください。
- 14 私の親族よ、離れなさい、そしてスパイスの山の雌鹿や羊のようになってください。